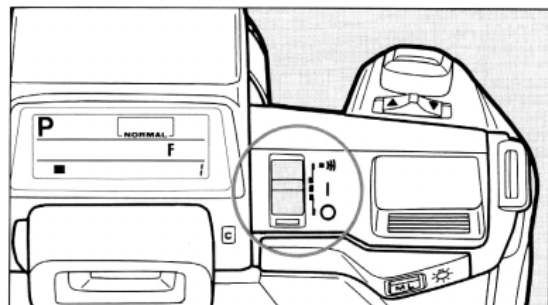


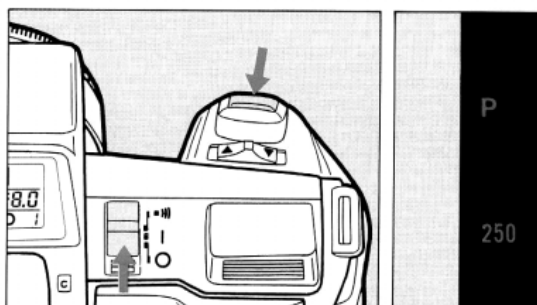
6. 電源スイッチを操作します



- 「入」 — ☒ [ピントが合ったときやセルフタイマーを使ったときに「ピッピッ」と電子音で知らせます。]
- ☐ [電子音を消します。]
- 「切」 — ☐ [使わないときは、必ずこの位置にします。]

[文中では、電源スイッチをスイッチと略します。]

7. シャッターボタンを操作します



スイッチを ☒ にし、図のようにシャッターボタンを軽く押している間は、ファインダー内に露出計などの情報が表示され、さらに押し込むとシャッターが切れます。

- 指を離すと、約5秒後に表示が消えます。
- レンズキャップは必ず外して、明るい方に向けてシャッターを切ってください。

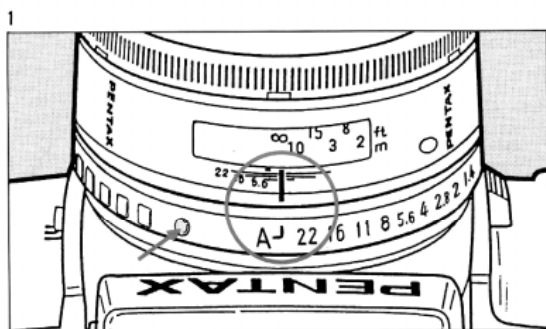
11

基本撮影編

プログラム自動露出は、絞りとシャッター速度が自動的に組み合わされるので、撮影が簡単にたのしめます。

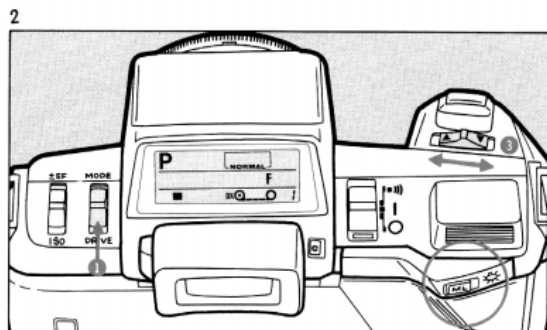


1. プログラム自動露出に合わせます



1. 図のように、レンズのボタンを押したまま、絞りリングを回して **A** にします。
A にすると、絞りリングが固定されます。

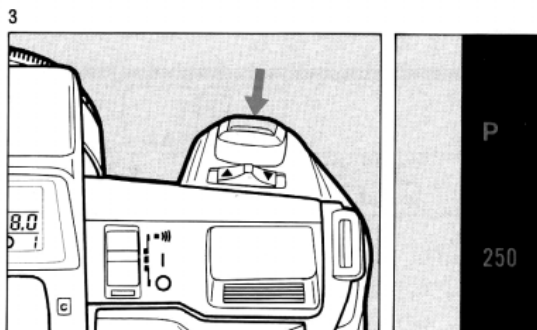
SFX_Nには、 [高速優先]・**NORMAL** [ノーマル]・ [深度優先]の3つのプログラム自動露出があります。基本撮影編での操作は、ノーマルプログラムでご説明いたします。



2. 図のように、①のレバーを **MODE** [モード] 側に押したまま、③の **▲▼** レバーを右か左に一回づつ動かして **P** と **NORMAL** の表示を出します。

- **▲▼** レバーは、右か左に押したままにすると早送りします。

○印の **ML** ボタンを一回押すと、表示パネルが照明されますので、暗い所での操作にご利用ください。ボタンを押してから、約8秒後に照明は消えます。なお、このボタンを押し続けると「メモリーロック[50ページ]」になります。



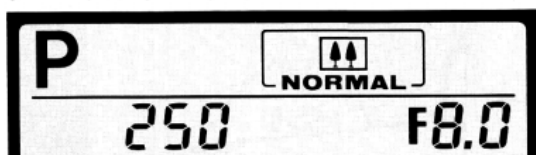
3. シャッターボタンを軽く押し、ファインダー内の右上に **P** と「シャッター速度」の表示が出ることを確認します。〔表示パネルにも、シャッター速度と絞りが表示されます。〕

- 緑色の4000～60[1/4000～1/60秒]のランプが光っていれば撮影できます。30～LT[1/30～1/2秒以下]のシャッター速度[橙色]になったときは、手ぶれの危険がありますので、ストロボや三脚を使つての撮影をおすすめします。〔64ページの露出警告表示もご覧ください。〕

13

〔高速優先・深度優先プログラム〕

ノーマルプログラム



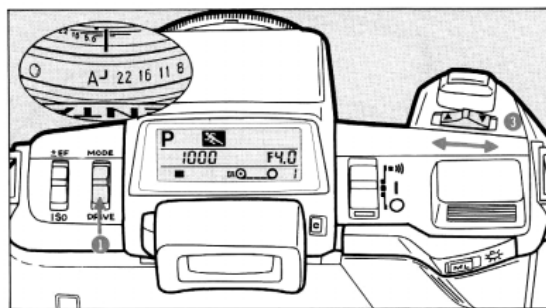
ノーマルは、スナップや風景などの一般撮影に適したプログラム自動露出です。

使用レンズの焦点距離に応じて、**☐☐☐** [ワイド]・**☐☐** [標準]・**☐** [テレ]と自動的に切り替わります。またズームレンズの焦点距離を変えたときも、自動的に切り替わります。ズームレンズのマクロ機構を使うときは、自動的に **☐☐☐** [ワイド] になります。

- SMCペンタックスAレンズ[SMC PENTAX-A]を使用した場合は、全て **☐☐** [標準]になります。

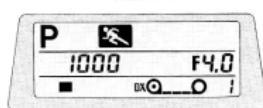
ノーマルプログラムとレンズの焦点距離

ノーマルプログラム	レンズの焦点距離
☐☐☐ [ワイド]	40mm未満
☐☐ [標準]	40mm以上110mm以下
☐ [テレ]	110mmを超える場合

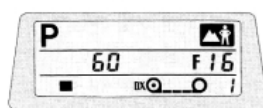


図のように、①のレバーを **MODE** [モード] 側に押したまま、③の **▲▼** レバーを右か左に一回づつ動かして、**☐** [高速優先]か **☐** [深度優先] にします。

高速優先



深度優先



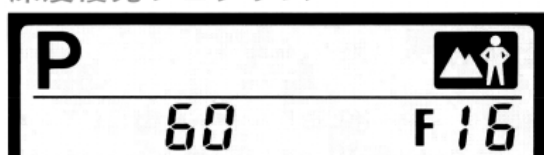
高速優先プログラム



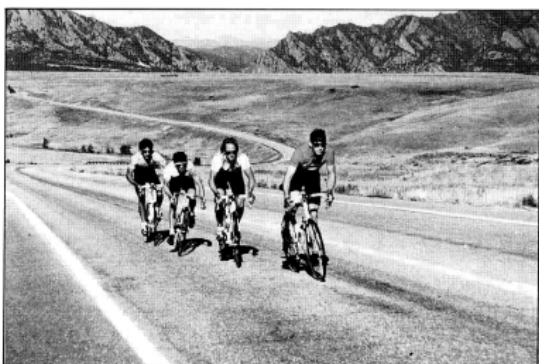
速いシャッター速度が得られるようにプログラムされています。動きの速い被写体[スポーツ・動物写真等]、またカメラぶれの起こりやすい撮影などにお使いください。



深度優先プログラム

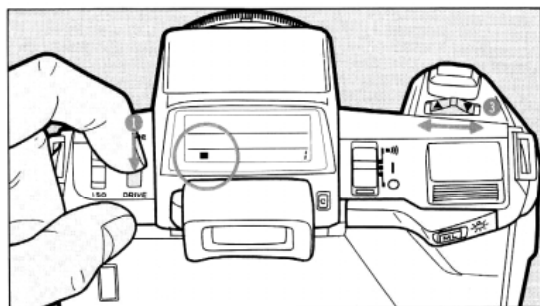


ピントの合う範囲[奥行]が深くなるようにプログラムされています。近景から遠景までシャープに撮影したいときや接写などにお使いください。



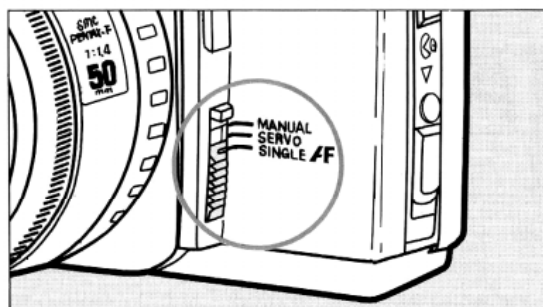
15

2. [1コマ撮影]にします



図のように、①のレバーを **DRIVE** [ドライブ] 側に押したまま、③の  レバーを動かして  表示にします。

3. [オートフォーカス]に合わせます



図のように、レバーの白線を **SINGLE** [シングル] または **SERVO** [サーボ] に合わせます。

オートフォーカス

SINGLE [レンズが自動的に作動し、ピントが合うとシャッターを切ることができます。]

SERVO [画面中央の被写体が動けば、ピントが合うように追いつけます。シャッターは、ピント合わせに関係なく切ることができます。]

MANUAL マニュアル

MANUAL [手動でピントを合わせる「マニュアルフォーカス」です。45ページ]

 **1コマ撮影** [シャッターボタンを押すたびに、1コマずつ撮影されます。]

 **連続撮影** [シャッターボタンを押し続けると、連続撮影になります。]

 **オートブラケットング撮影** [49ページ]

 **トリプルセルフタイマー撮影** [53ページ]

 **セルフタイマー撮影** [52ページ]

4. カメラの構え方・カメラぶれの防ぎ方

●横位置



撮影するときは、カメラの構え方が大切です。

- シャッターボタンは息を止めて指先で静かに押します。〔強く押すとカメラぶれしやすくなります。〕
- 木や建物・テーブルなどを利用して、からだやカメラを安定させる方法などを利用します。

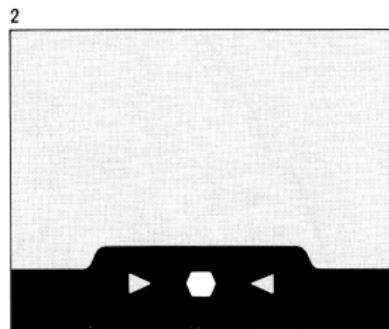
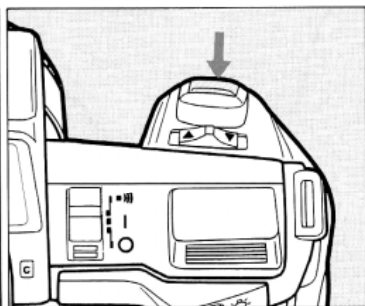
●タテ位置



- 1/30以下の低速シャッターや超望遠レンズを使用するときは三脚と、別売りの「ケーブルスイッチF」をご利用ください。
- 特に望遠レンズで三脚を使用するときは、カメラやレンズの総重量より重い三脚を使うとカメラぶれ防止に効果があります。

17

5. ピントを合わせます



フォーカス表示	内 容
○ 〔緑 色〕	合焦表示 ピントが合った撮影ができます。
..... ▶ ◀	ピント合わせができないときです。同じ被写体の明るい部分に合わせ直すと合焦する場合があります。「オートフォーカスの苦手な被写体」44ページをご覧ください。暗い場合は、ストロボ撮影をご利用ください。
◀ 〔赤 色〕	撮影距離が近いのでピントが合いません。もう少し離れてください。
..... ▶ ◀	Fズームレンズのマクロ(MACRO)のときに、点滅表示します。 ▶ =撮影距離が近いのでピントが合いません。 ◀ =撮影距離が遠いのでピントが合いません。
..... ▶ ◀ 〔赤色点滅〕	

1. 写真のように、フォーカスフレーム〔C〕の所にピントを合わせたい物を持ってきて、シャッターボタンを軽く押します。
 2. ピントが合うと、図のようにファインダー内の○が緑色に光って、「ビッビッ」という電子音が聞こえます。
- ▶◀ が点滅を続けているときは、撮影する距離が近すぎたり、「オートフォーカスの苦手な被写体」[44ページ]でピント合わせができないときです。



3. さらにシャッターボタンを押し込むと撮影ができます。

- 作動中はレンズの距離リングに手をかけたり、回転を妨げたりしないでください。

A F シングル撮影

- ピントが合うまでシャッターは、切れません。
- シャッターボタンを軽く押し、 が光っている間は、ピントが固定[フォーカスロック]されています。「フォーカスロック撮影[20ページ]をご覧ください。」
- 一度合うとピントが固定されますから、別のものにピントを合わせ直すときは、シャッターボタンから指を離し、押し直します。
- シャッターボタンを急に押し込んだ場合でも、ピントが合ってからシャッターが切れます。
-  連続撮影で、動きのある被写体を撮影するときは、ピントが合うとシャッターが切れる「AFシングル」を使うと便利です。

A F サーボ撮影

- ピント合わせに関係なくシャッターを切ることができます。シャッターボタンを軽く押していればピント合わせが連続して行なわれ、動く被写体を追いつけます。
-  が光っているときにシャッターを切ると、ピントが合った写真になります。

6. フォーカスロック撮影を覚えましょう



構図上、ピントを合わせたいものから  が外れているときは、次のようにフォーカスロック撮影をします。

1.  が外れたままで撮影をすると、写真のように後ろの方にピントが合ってしまいます。
2. ピントを合わせたい物に  を向けて、シャッターボタンを軽く押し続け、 を光らせたままにしておきます。[ピントを記憶させる操作です。]
3. シャッターボタンを軽く押し続け、元の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込んで撮影をします。

-  [オートフォーカス]の **SINGLE** [シングル] に合わせてください。
- シャッターボタンを軽く押し、 が光っている間はフォーカスロックされ、指を離すと解除します。何回でも繰り返すことができます。

7. ズームレンズを操作します〔ズームレンズご使用の場合〕



ズームリングを回すと、写したいものが大きくなったり、小さくなったりしますから、お好みの位置に合わせます。

- ズームリングの数字が小さいときは、写る範囲が広い広角側に、大きいときは遠いものを大きく写す望遠側になります。

●広角〔35mm〕

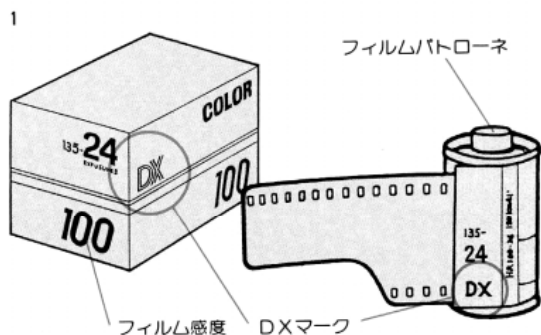


●望遠〔70mm〕



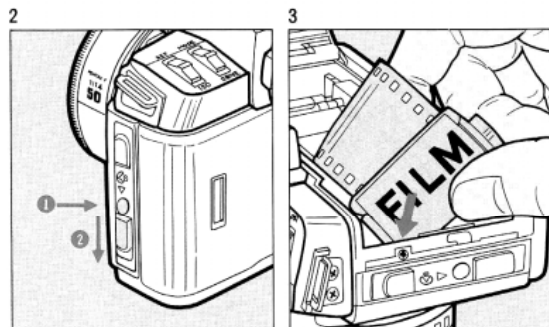
21

8. DX フィルムを入れます



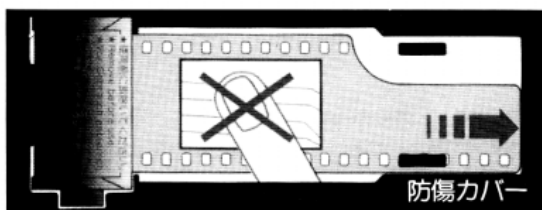
1. 図のように、**DX** マークの付いているフィルムを用意します。

〔DXフィルムはISO 25～5000まで使えます。〕

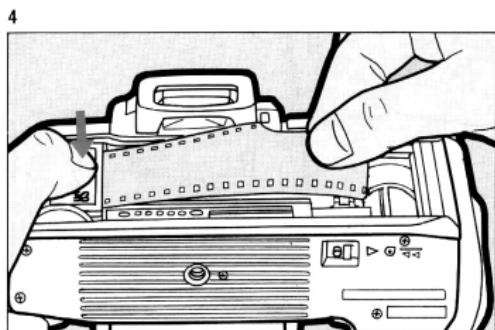


2. ①のロックボタンを押したまま、②の開放レバーを押して、裏ぶたを開けます。
3. 図のように、パトローネの凸部側を下にして、上側から先に入れます。

- 初めてカメラにフィルムを入れるときは、裏ぶたを開き、内側にある防傷カバー〔下図〕を取り外して捨ててください。

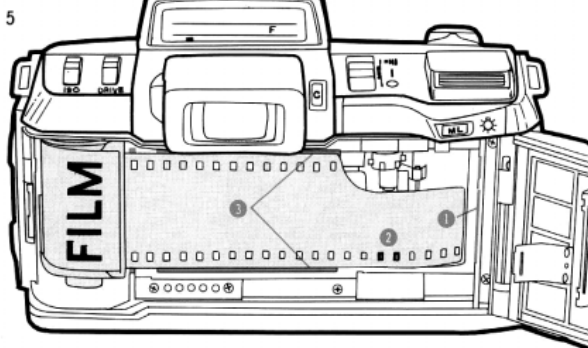


- DX** フィルムは、感度が自動的にカメラにセットされるフィルムです。
- フィルム感度の確認や**DX** 以外のフィルムの感度セットは、25ページをご覧ください。



4. 図のように、左手でパトロネを押さえながらフィルムを引き出します。

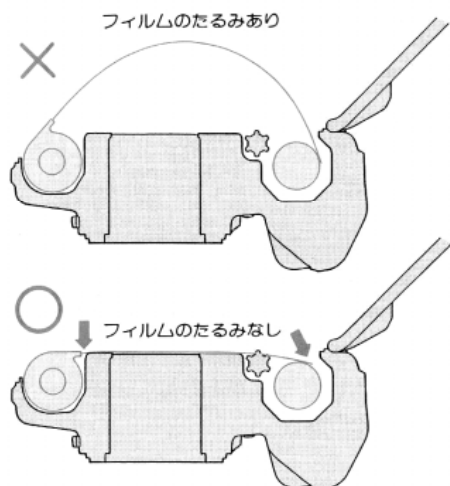
- シャッター幕は精度を出すために、非常に薄い幕でできています。手やフィルムの先端部などが絶対に触れないように注意してください。
- DXの情報ピンは、フィルム感度を読み取る接点です。キズ・汚れ・ゴミを付けないようにしてください。また、お気付きのときには、ミクロ繊維[メガネ拭きなどに利用されている布]や乾いた布などで拭いてください。



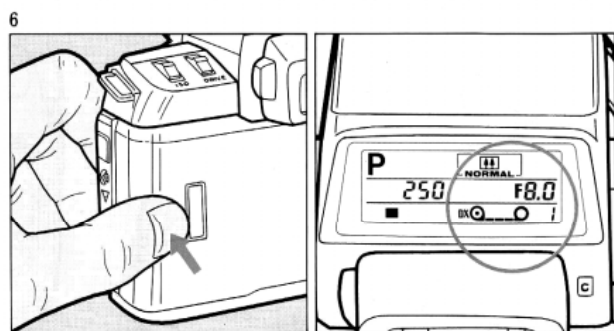
5. 図のように、フィルムの先端部を「①の先端マーク」に合わせ、フィルムにたるみがあれば、パトロネに戻してたるみをとります。

- フィルムの穴[パーフォレーション]を②の歯に合わせ、③のガイドレール[赤線]の間にフィルムが入っていることを確認してください。

23



- フィルムはたるみがないように入れてください。
- フィルムの先端が極端に折れ曲っているものは、まっすぐに直すか、曲った部分を切り取ります。

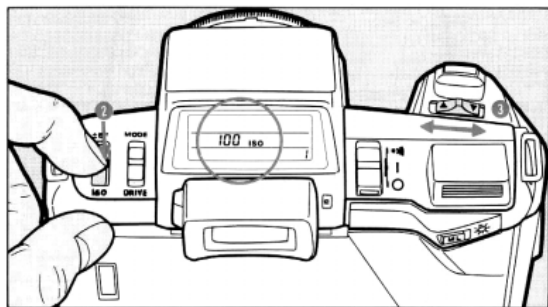


6. 裏ぶたを閉めると、自動的に1枚目まで巻き上げられます。①と1が表示されることを確認します。

- スイッチが「入」になっていないと、フィルムを巻き上げられません。
 - ①が出ないときは、フィルムが正しく入っていません。裏ぶたを開けて、フィルムを入れ直してください。
- DX フィルムの場合は
①とEが点滅して、知らせます。



9. フィルム感度の確認と感度の合わせ方

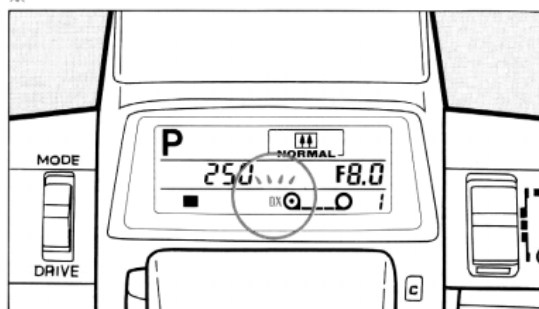


上図②のレバーを **ISO** 側に押すと、セットされているフィルム感度が表示されます。

DX 以外のフィルム感度を合わせるときは、②のレバーを **ISO** 側に押したまま、③の **▲▼** レバーを右か左に一回づつ動かして、使用フィルムの感度〔数値〕に合わせます。

- **▲▼** レバーは、右か左に押したままにすると早送りします。
- フィルム感度は、[ISO 6~6400]で1/3段階ごとに表示します。
 - ▲ → 高感度側[6400]へ移動
 - ▼ → 低感度側[6]へ移動

※



※ **DX** フィルムを使用しているときは、表示パネルに **DX** が出ます。

増感や減感などで、DXフィルムの感度を変えようと、**DX** が点滅して変えていることを知らせます。

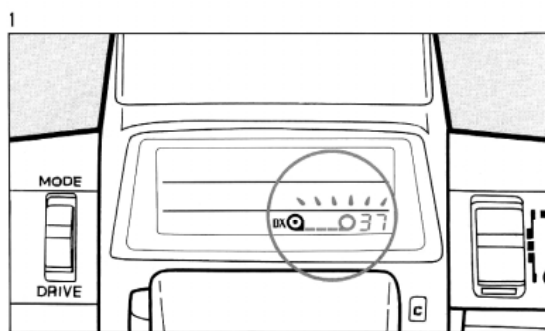
25

10. 撮影をします



シャッターボタンを静かに押し込んで、撮影をします。撮影をすると、1コマずつ自動的に巻き上げられます。

11. フィルムを巻き戻し、取り出します



1. フィルムの最後まで撮ると、**—●** と「撮影枚数」の表示が点滅を続けます。

- フィルムの最後まで撮ると、カメラのミラーが途中で止まる場合があります。巻き戻しの操作を行うと、元の位置に戻ります。